



令和6年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

YURIKAGO 通信

《12月号》

☆☆☆☆ R6. 11. 25 東京ゆりかご幼稚園

### 冬のマラソン～焚き火

木枯らしが吹き、七国の山にも寒さが訪れましたが、子どもたちは寒さも気にせず、朝から園庭を駆け巡っています。今月より朝のマラソンが始まりました。「冬の寒い日も元気に外で体を動かそう」という趣旨で、毎朝、音楽が鳴ると、園庭の芝生、棚田の周り、小川の周り、てっぺん広場やアスレチックなど、様々な場所で学年ごとに楽しみながら走っています。みんなで一緒に走り、心も体も温かくなり、充実した1日が始まります。

また、森の広場では小枝や落ち葉をかき集め、焚き火も時々行っています。枝が長ければ友達と協力して短く折ったり、燃えやすい落ち葉とそうでない葉を確かめながら火に入れ、手のひらをかざし暖かさを感じるなど、この時期ならではの体験を楽しんでいます。巡る季節に応じ、知恵を出し合いながら過ごす楽しみがこの里山園庭にはあります。



### “50周年記念 秋祭り”～子どもたちのために～

50周年記念として開催された「秋祭り」。この行事は例年、Yurikagoの秋の自然を楽しみながら、保護者の方をはじめとする様々な大人たちが“子どもたちのために”に発表や遊び場、体験コーナーを設けていただいているものです。今年度は地域の企業、店舗などの皆様にもご協力をいただき、午前・午後の2部にわたって大勢の方にお越しいただきました。ご協力をいただきました保護者、企業の皆様、ありがとうございました。

表題にもあります“子どもたちのために”という考えは、昨今では社会においても「チルドレンファースト、子どもまん中、子ども第一主義」など様々に表現されるようになりましたが、幼稚園は元来「子ども」を主役に、中心に、第一に考えてきた文化があります。大人の都合が優先される社会では、子どもは幸せに生きることが難しく、社会に対しても明るい未来を抱くことができません。少なくとも幼稚園では子どもが中心でありたい、子どもの幸せ=Well Beingを第一に考えたい、そんな願いでこれまで幼児教育、保育を行ってまいりました。

子どもたちの傍らには、大人のあたたかい眼差しが必要です。そこには「いつも見守っているから、安心して挑戦していらっしやい」という暗黙のメッセージがあります。子どもは、大人から認められ、愛されていると感じた時に初めて自己を発揮し、安心して遊びや活動に取り組むことができます。こうした経験を通して、自尊感情や自己肯定感が育まれ、多少の困難をも乗り越えられるようになっていきます。

ゆりかご幼稚園は、これからも“子どもたちのために”に、保護者の皆様と共に歩んでまいります。

※秋祭りの詳細・画像はこちら（ブログ）からご覧いただけます⇒



### 図鑑の充実 ～小さな博士～

年中、年長の各クラスに図鑑20巻セットと図鑑を入れるためのオリジナル移動式本棚を購入しました。様々な場所に持ち出して読んだり調べたりできるよう購入したのですが、早速、縁側テラスに持ち出して捕まえた昆虫を調べたり、興味のある事柄について夢中になって調べる様子が見られます。興味を示した様々な分野で探究心を持って取り組み、たくさんの“小さな博士”が育つことを願っています！



## 創立50周年記念『オリジナル絵本の制作』と、ご寄付募集のご案内

ゆりかご通信8月号でもご案内しましたが、創立50周年を記念してゆりかご幼稚園オリジナル絵本を製作しております。本園教諭の滝田佐智子が絵を、山本智美がストーリーを担当し、「どんぐり」と「ムササビ」を題材にした2種類の絵本を制作中です。園の教材や“アンパンマン”でお馴染みの「フレーベル館」が監修を行い、第一版として各2,000冊を予定しております。3月頃に完成予定ですので、できあがりましましたら在園児、卒園児の皆様に配布させていただく予定です。子どもたちにも馴染みのある Yurikago ならではのお話になりますので、どうぞお楽しみに！

なお、絵本の制作に際し、個人、企業、団体の皆様のご寄付を募集させていただきます。ご寄付いただいた方には、絵本巻末にお名前を入れさせていただく予定です（申込時に掲載希望の有無を伺います）。お子様にとりましても記念の絵本になるかと思っておりますので、どうぞ大勢の皆様にご協力をいただけましたら幸いです。申し込み方法などの詳細につきましては近日中にご案内いたします。



ドンぐリのお話（ほぼ完成！）



ムササビのお話（制作中）